

中国語

三宅 登之

小稿では、アンケート項目に回答する形を通して、中国語の他動性表現について考察してみたい。以下、括弧内の数字はアンケート番号を表す¹。

中国語の他動詞構文の基本語順はS(主語)+V(動詞)+O(目的語)であるが、動詞の後に動作の結果を表す結果補語等の成分が付加されると、語順的には本来の目的語が前置詞“把”によって前置され²、その結果統語的には動詞句が後ろに回る「把」構文が用いられることが少なくない。

(1)a. 彼はそのハエを殺した。

他 把 那 只 苍蝇 拍死了。

Tā bǎ nà zhī cāngying pāisǐ le.

彼 prep. その ハエ 叩く死ぬ mod.³

b. 彼はその箱を壊した。

他 把 那个 箱子 弄坏 了。

Tā bǎ nàge xiāngzi nònghuài le.

彼 prep. その 箱 壊す mod.

c. 彼はそのスープを温めた。

他 把 那 碗 汤 热了 一下。

Tā bǎ nà wǎn tāng rèle yíxià.

彼 prep. その スープ 温める asp. ちょっと

¹ 中国語データは、中国語母語話者である靳亢氏(小稿執筆時に本学博士前期課程在学中の中国人留学生)にご提供いただいた。ここに感謝の意を表したい。ただし、小稿の内容に誤りや問題点があれば、それは全て筆者の責任に帰するものである。

² 前置詞“把”(データに付したグロスでは prep.と記す)の目的語が、本来あった動詞の位置から前置された、すなわち移動したものであると解釈するかどうかは、“把”構文にまつわる大きなテーマであるが、小稿ではその点には触れない。

³ 現代中国語には2つの助詞“了”がある。動詞の直後につき、動作の実現・完了を表すアスペクト助詞を小稿グロスでは asp.と、文末に置かれ新しい状況の発生や変化を表す語気助詞を mod.と記す。

d. 彼はそのハエを殺したが、死ななかった。

他 拍了 一下 那只 苍蝇, 可是 没 拍死。

Tā pāile yíxià nà zhī cāngyīng, kěshì méi pāisǐ.

彼 叩く asp. ちょっと その ハエ しかし ~しない 叩く死ぬ

(1)a.(1)b.(1)c.が“把”構文の例である。それぞれ(1)a.では“那只苍蝇”(そのハエ), (1)b.では“那个箱子”(その箱), (1)c.では“那碗汤”(そのスープ)が前置詞“把”の目的語になり、統語的には動詞より前に位置し、結果的には日本語同様「~を~する」の語順となっている。中国語の動詞はそれだけでは動作段階の実現を述べるだけで、結果段階まで含意するかどうか不明確な場合が多いので、事象が何らかの結果を伴う有界な (bounded) ものであることを表すには、結果を表す結果補語などの統語成分を動詞の後に置く必要があることが多い。少なくとも“把”構文においては、このような動詞の後に置かれるその他の成分が、構文が成立するための統語的条件になっている。(1)a.では“死”(死ぬ), (1)b.では“坏”(壊れる)というそれぞれ結果補語, (1)c.では“一下”(ちょっと)という動作量を表す動量補語⁴が“了”とともに用いられていることが、“把”構文が成立する上での重要な要件になっている。

(1)d.は“把”構文ではなく、動詞(“拍”) + 目的語(“那只苍蝇”)の語順をとっている。動詞“拍”(叩く)にアスペクト助詞“了”が付加され、この文ではハエを殺すためにそのハエを叩くという動作が実現したということを表しているが、その結果ハエが死んだかどうかという結果段階までは含意していない。よって複文の後半節で“可是没拍死”(しかし叩いても死ななかった)という結果段階の未実現を表す成分を付加しても、前後で意味的に矛盾はしないのである。

(2)a. 彼はそのボールを蹴った。

他 踢了 一下 那个 球。

Tā tīle yíxià nàge qiú.

彼 蹴る asp. ちょっと その ボール

b. 彼女は彼の足を蹴った。

她 踢了 一下 他的 脚。

Tā tīle yíxià tā de jiǎo.

彼女 蹴る asp. ちょっと 彼の 足

⁴ これを補語ではなく目的語(通常の目的語とは異なる仮目的語“准宾语”)と分析する考え方もあるが、補語と分析しても目的語と分析しても、小稿の議論に影響はない。

c. 彼はその人にぶつかった (故意に).

他 撞了 一下 那个人。

Tā zhuàngle yíxià nàge rén.

彼 ぶつかる asp. ちょっと その 人

d. 彼はその人にぶつかった (うっかり).

他 和 那个人 不 小心 撞到 了。

Tā hé nàge rén bù xiǎoxīn zhuàngdào le.

彼 ~と その 人 うっかりして ぶつかる mod.

(1)に比べると(2)は対象物の動作の影響を受けての変化を含意しない点で、典型的には対象物への何らかの処置を表す“把”構文よりも動詞+目的語の語順が使われることが多くなる。(2)a.(2)b.(2)c.は、その対象物に対して変化をもたらしていないので、その変化後の結果を表す結果補語なども付加されていない。本来「少し、ちょっと」という意味を表す“一下”が使われたほうが、文が安定するようである。これらの文ではもはや動作量が少量であるという“一下”の本来の語彙的意味は薄れている。(2)d.では「その人」という対象が前置詞“和”で動詞よりも前置されている。ただこの文も、動詞+目的語の語順を使い、“他不小心撞到了那个人。”とも言える。“到”はここでは「ぶつかる」という動作が実際に、対象物に接触するという結果を確かに伴ったことを表す。統語的には方向補語と分析してもよいし、結果補語と分析してもよい。

(3)a. あそこに人が数人見える。

那儿 有 几 个人。

Nàr yǒu jǐ ge rén.

あそこ いる 数人の 人

b. 彼はその家を見た。

他 看了 一下 那个 家。

Tā kànle yíxià nàge jiā.

彼 見る asp. ちょっと その 家

c. 誰かが叫んだのが聞こえた。

我 听到 有 人 喊了 一声。

Wǒ tīngdào yǒu rén hǎnle yì shēng.

私 聞こえる いる 人 叫ぶ asp. 一声

d. 彼はその音を聞いた.

他 听到了 那个 声音。

Tā tīngdàole nàge shēngyīn.

私 聞こえる asp. その 音

(3)では知覚表現が集められているが、(3)a.は中国語では存在を表す動詞“有”を用いて「あそこに人が数人いる」という表現を使うのが自然なようである。(3)b.はどのような状況でありうる発話かわかりにくいだが、“看”は動作主が意志を持って見ようとする動作を遂行することである。通常は見ようという動作をすれば、見えるので、動作の実現・完了を表すアスペクト助詞“了”を付加すれば見えたことになるが、実際に見えたことを明示する場合は“见”(知覚したことを表す)“到”(見ようとする行為が目的に到達することを表す)のような補語をつける。(3)c.と(3)d.では動詞“听”(聞く)が補語“到”を伴い、実際に出来事の音を耳にしたということを表している。

(4)a. 彼は(なくした)鍵を見つけた.

他 把 钥匙 找着 了。

Tā bǎ yàoshi zhǎozháo le.

彼 prep. 鍵 探し当てる mod.

b. 彼は椅子を作った.

他 做了 一 把 椅子。

Tā zuòle yì bǎ yǐzi.

彼 作る asp. 1つの 椅子

(4)b.のように、元々存在しなかったものが、動作の遂行によって出来上がるという意味関係になるような目的語を中国語では結果目的語という。“写文章”(文章を書く)の“文章”，“盖房子”(家を建てる)の“房子”等が該当する。(4)a.は、鍵は紛失していたとはいえ、既に現実には存在していた物なので、“找钥匙”(鍵を探す)の“钥匙”は結果目的語ではない。“着”は目的に到達したことを表す結果補語で、(3)c.(3)d.の“到”を用いても同じ意味を表す。

(5)a. 彼はバスを待っている.

他 在 等 公交车。

Tā zài děng gōngjiāochē.

彼 ~ている 待つ バス

b. 私は彼が来るのを待っていた。
我 刚才 在 等 他 来。
Wǒ gāngcái zài děng tā lái.
私 さっき ~ている 待つ 彼 来る

c. 彼は財布を探している。
他 在 找 钱包。
Tā zài zhǎo qiánbāo.
彼 ~ている 探す 財布

(5)は動作が進行していることを表す表現であるが、これらの文は中国語では動作の進行を表す副詞“在”を動詞の前に置くことでその意味を表す。“等”(待つ)という動作行為は静的で一種の状態の持続とも捉えうるので、状態の持続を表すアスペクト助詞“着”を用いることも可能である。

(6) a. 彼はいろいろなことをよく知っている。
他 知道 很 多 事情。
Tā zhīdao hěn duō shìqing.
彼 知っている とても 多い こと

b. 私はあの人を知っている。
我 认识 那个人。
Wǒ rènshi nàge rén.
彼 知っている あの 人

c. 彼には中国語がわかる。
他 懂 汉语。
Tā dǒng Hànyǔ.
彼 わかる 中国語

知識として「知っている」という意味の動詞は“知道”((6)a.)、また人などを見識しているという意味の動詞は“认识”((6)b.)という。「わかる」は“懂”((6)c.)で、いずれも他動詞であり、知っている対象や理解している対象は、目的語として動詞の後に続ける。

(7) a. あなたはきのう私が言ったことを覚えていますか？

你 记得 我 昨天 说 的 话 吗？

Nǐ jìde wǒ zuótiān shuō de huà ma?

あなた 覚えている 私 昨日 言う ~の 言葉 ~か？

b. 私は彼の電話番号を忘れてしまった。

我 把 他 的 电 话 号 码 忘 了 。

Wǒ bǎ tā de diànhuà hàomǎ wàng le.

私 prep. 彼 の 電話 番号 忘れる mod.

“记得”（覚えている）は状態動詞でそのままで日本語のテイル形に対応するが，“忘”（忘れる）は覚えていた段階から忘れた段階への変化という捉え方で“了”を伴い“忘了”（忘れた）という形で用いられることが多い⁵。(7)b.は“他的电话号码”（彼の電話番号）が意味上特定のものであるので“把”構文が用いられているが、動詞+目的語の語順で述べることも可能である。

(8) a. 母は子供たちを深く愛していた。

这 位 母 亲 曾 深 爱 着 她 的 孩 子 。

Zhè wèi mǔqīn céng shēn àizhe tā de hái zi.

こ の 母 かつて 深く 愛している 彼女 の 子供

b. 私はバナナが好きだ。

我 喜 欢 吃 香 蕉 。

Wǒ xǐhuan chī xiāngjiāo.

私 好きである 食べる バナナ

⁵ “忘”が伴う“了”は、動作後何か（この場合は記憶）がなくなってしまうという意味の、アスペクト助詞への文法化が完全には進んでいない結果補語の性質を残した成分であるが、基本的にはアスペクト助詞であることには変わらない。また、(7)b.ではさらにそれが文末に位置し語気助詞を伴っているの、理論的には“忘了(アスペクト助詞)了(語気助詞)”と2つの“了”が連続していることになる。しかし実際の発話では“了”は1つだけ使い、アスペクト助詞と語気助詞の2つを兼ねさせる。例文のグロスでは便宜的に語気助詞と記した。

c. 私はあの人が嫌いだ.

我 讨厌 那个人。

Wǒ tǎoyàn nàge rén.

私 嫌いである あの 人

“愛”（愛している）((8)a.) “喜欢”（好きである）((8)b.) “讨厌”（嫌いである）((8)c.) のような愛憎の感情を表す動詞も、他の他動詞と同様に、後に目的語を伴うことができる。(8)a.や(8)c.は人を直接目的語にとる例である。(8)b.では「バナナが好きだ」は直訳的に「好きである」という動詞が直接「バナナ」という名詞を目的語として伴って“喜欢香蕉”と言っても構わない。しかし「バナナが好きだ」とは通常は「バナナを食べるのが好きだ」という意味であり⁶、このような場合中国語では「食べる」という動詞も言って「バナナを食べるのが好きだ」のように述べることが多い。

(9) a. 私は靴が欲しい。

我 想要 那双 鞋。

Wǒ xiǎng yào nà shuāng xié.

私 思う 欲しい あの 靴

b. 今、彼にはお金が要る。

现在 他 需要 钱。

Xiànzài tā xūyào qián.

今 彼 要る 金

“要”（欲しい）((9)a.) “需要”（要る）((9)b.) のような動詞も、その必要な対象物を目的語として伴うことができる。

(10) a. (私の) 母は (私の) 弟がうそをついたのに怒っている。

我 弟弟 撒谎 了。 我 妈妈 很 生气。

Wǒ dìdì sāhuǎng le. Wǒ māma hěn shēngqì.

私 弟 うそをつく mod. 私 母 とても 怒っている

⁶ もちろんこれは文脈にもよる。「バナナが好きだ」が「バナナを買うのが好きだ」や「バナナの絵を描くのが好きだ」の意味として発話されるような文脈も設定することは可能である。

b. 彼は犬が怖い.

他 怕 狗。

Tā pà gǒu.

彼 怖がる 犬

感情を表す動詞の場合、その感情の原因を表す成分を目的語の位置に置くかどうかは、動詞によって異なる。「怒っている」という動詞“生气”は、(10)a.のように、「何に対して怒っているのか」という怒りの原因を先に述べるのが通常の語順のようである。これは“生气”がその語構成が“生”+“气”という動詞+目的語構造で、間に他の成分が挟まって両者が離れることもある離合動詞であることに起因している⁷。また、「恐れる、怖がる」という動詞“怕”は、恐れの対象を目的語に伴う。

(11) a. 彼は父親に似ている.

他 很 像 他 父亲。

Tā hěn xiàng tā fùqīn.

彼 とても 似ている 彼 父

b. 海水は塩分を含んでいる.

海水 里面 有 盐分。

Hǎishuǐ lǐmiàn yǒu yánfēn.

海水 中 ある 塩分

「～に似ている」という状態は動詞“像”で表され((11)a.)、似ている相手を目的語として伴っている。「含んでいる」という状態は文によっては異なる動詞が用いられる可能性もあるが⁸、(11)b.では動詞は“有”を用いて「海水の中には塩分がある」という表現になっている。

(12) a. 私の弟は医者だ.

我 弟弟 是 医生。

Wǒ dìdì shì yīshēng.

私 弟 ~だ 医者

⁷ 離合動詞であるため、例えば「彼のことを怒っている」という場合、「生他的气」のように、怒っている原因である「彼」を間に挟んでフレーズになる。

⁸ “帶有”“含有”などが考えられるが、これらは“有”の変種であるとも考えることもできる。

b. 私の弟は医者になった。

我 弟弟 当 医生 了。

Wǒ dìdì dāng yīshēng le.

私 弟 なる 医者 mod.

「AはBである」という関係を表す場合のコピュラ動詞は“是”を用いる((12)a). “是”の後の成分は目的語である. 「～になる」という動詞は“当”で, (12)b.では新しい状況の発生を表す語気助詞“了”とともに用いられ「～になった」という状況の変化を表している.

(13) a. 彼は車の運転ができる.

他 会 开车。

Tā huì kāi chē.

彼 ～できる 運転する 車

b. 彼は泳げる.

他 会 游泳。

Tā huì yóuyǒng.

彼 できる 泳ぐ

「車の運転ができる」((13)a.)や「泳げる」((13)b.)のような, 練習した結果, 技能を習得して「～できる」という場合には, 可能を表す助動詞“会”を動詞の前に置いて表す. なお, 中国語では助動詞は動詞の一種で, 助動詞の後に置かれるフレーズはその助動詞の目的語扱いになる.

(14) a. 彼は話をするのが上手だ.

他 很 会 说话。

Tā hěn huì shuōhuà.

彼 とても できる 話しをする

b. 彼は走るのが苦手だ.

他 不 擅长 跑步。

Tā bú shàncháng pǎobù.

彼 ～ない 堪能である 走る

「～が上手だ」という意味は、(13)で用いた可能を表す助動詞“会”を程度副詞“很”で修飾して表現する方法もあれば ((14)a.), “擅长” (堪能である, 長じている) のような動詞を用いて表す方法もある ((14)b.). “擅长”は何が堪能かという対象を目的語の位置に置く.

(15) a. 彼は学校に着いた.

他 到 学校 了。

Tā dào xuéxiào le.

彼 着く 学校 mod.

b. 彼は道を渡った／横切った.

他 穿过了 马路。

Tā chuānguòle mǎlù.

彼 通り抜ける過ぎる asp. 道

c. 彼はあの道を通った.

他 走过了 那条路。

Tā zǒuguòle nà tiáo lù.

彼 歩く過ぎる asp. あの 道

(15)a.の“到”は「着く, 行く」という意味の移動動詞である. 後に場所 (到達地) を表す目的語を伴う. (15)b.では“穿” (通り抜ける) (15)c.では“走” (歩く) が, 方向補語“过” (ある場所を通る, 過ぎる) を伴い, 動補フレーズが場所を表す目的語を伴っている.

意味的には, 移動という事象は目的語が表す場所に対して何らかの他動的な働きかけをしているわけではないので, 移動動詞が伴う場所を表す目的語は, 一般の目的語とは異質な, 「仮目的語」 (“准宾语”) として扱われることもある⁹. 一般の目的語とは異なるため, 移動動詞はそれを他動詞とする立場と自動詞とする立場の両方があり, 先行研究によって意見が異なる.

(16) a. 他はお腹を空かしている.

他 肚子 饿了。

Tā dùzi è le.

彼 お腹 空腹である mod.

⁹ 朱德熙 1982:56 を参照.

b. 彼は喉が渴いている.

他 口 渴 了。

Tā kǒu kě le.

彼 口 乾いている mod.

“饿”（お腹が空いている）と，“渴”（喉が渴いている）は、形容詞である。「お腹を空かす」のような他動詞的な表現はとらない¹⁰。(16)a.(16)b.の日本語訳を見ると、「お腹を空かしている」「喉が渴いている」とテイル形になっているが、中国語ではこれらは文末に新しい状況の発生を表す語気助詞“了”を用いて、「お腹が空いていない状態から、お腹が空いた状態になった」という変化の表現になる。

(17) a. 私は寒い.

我 很 冷。

Wǒ hěn lěng.

私 とても 寒い

b. 今日は寒い.

今天 很 冷。

Jīntiān hěn lěng.

今日 とても 寒い

“冷”（寒い）という感覚を表す形容詞だが、寒さを感じる経験者（(17)a.）も主語に立つことができるし、時間（(17)b.）や場所なども主語に立つことができる。

(18) a. 私は彼を手伝った／助けた,

我 帮了 他 一下。

Wǒ bāng le tā yíxià.

私 手伝う asp. 彼 ちょっと

¹⁰ “饿”には「飢えさせる、ひもじい思いをさせる」という他動詞もあるが、意味項目としては別扱いとすべきものである。

b. 私は彼がそれを運ぶのを手伝った。

我 帮 他 搬 东西 了。

Wǒ bāng tā bān dōngxi le.

私 手伝う 彼 運ぶ 物 mod

手伝うという動詞は、(18)a.と(18)b.では手伝う相手“他”(彼)を目的語として伴っている。ただし、同じく「手伝う」という意味で“帮忙”という離合動詞を用いると、「彼を手伝う」という意味は“帮他的忙”(“他的”は「仮連体修飾語」)，“给他帮忙”(“给他”(彼のために)という前置詞フレーズが動詞“帮忙”を修飾)，“帮他忙”(二重目的語)の3つの表現のしかたが可能になる¹¹。

(19) a. 私はその理由を彼に訊いた。

我 问了他 一下 那 件事 的 理由。

Wǒ wènle tā yíxià nà jiàn shì de lǐyóu.

私 尋ねる asp. 彼 ちょっと その 事 ~の 理由

b. 私はそのことを彼に話した。

我 把 那 件事 告诉 他了。

Wǒ bǎ nà jiàn shì gàosu tā le.

私 prep. その 事 言う 彼 mod.

言語活動を表す動詞として、(19)a.では「(わからないことがあって) 問う、尋ねる」という意味の“问”，(19)b.では「告げる、知らせる」という意味の“告诉”が用いられている。“问”は“问”+目的語1(尋ねる相手)+目的語2(尋ねる内容)という、また“告诉”では“告诉”+目的語1(告げる相手)+目的語2(告げる内容)という、それぞれ二重目的語構文を構成する。また(19)b.では、“那件事”(そのこと)という本来の目的語2が、“把”構文で前置されている。

(20) 私は彼に会った。

我 见 他了。

Wǒ jiàn tā le.

私 会う 彼 mod.

¹¹ 朱德熙 1982:147-148 を参照。

「人に会う」という場合、「会う、面会する」という意味の動詞“見”を使えば、会う相手を目的語として伴う。また、“见面”（対面する、顔を合わせる）という離合動詞を用いると、「彼に会う」は“跟他见面”と、会う相手は前置詞“跟”によって先にフレーズ“跟他”（彼と）を構成し、“见面”を連用修飾することになる。

参考文献

龙日金，彭宣维 2012『现代汉语及物性研究』，北京大学出版社。

王惠 1997「从及物性系统看现代汉语的句式」『语言学论丛』第十九辑，商务印书馆。

朱德熙 1982『语法讲义』，商务印书馆。